

学校運営協議会 議事録

校名	府立りんくう翔南高等学校
校長名	藤田 繁也

開催日時	令和元年11月5日(火)15:00~16:30
開催場所	府立りんくう翔南高等学校 プレゼンテーションルーム
出席者(委員)	大泉 志保、田中 正視、寺脇 久人、岡崎 裕 ※岩瀬委員、酒井委員は欠席
出席者(学校)	藤田校長、妻木教頭、井内首席、田中首席 他分掌長および学年主任
傍聴者	なし
協議資料	(1)令和元年度の取組みと現状報告(中間報告)
備考	

議題等(次第順)

1. 校長挨拶(今年度前半の教育成果を報告)
2. 委員自己紹介
3. りんくう翔南高等学校平成30年度の振り返りと令和元年の取組み(報告)
 - (1)授業アンケートについて(7月実施の評価 昨年度に比べ同時期比0.07下降)
 - (2)10期生(現2年生)、11期生(現1年生)の令和2年度コース選択の予備調査について
 - (3)令和2年度使用教科書選定会議の結果について
 - (4)新学習指導要領の改訂および教育課程の検討について(中間報告)
 - (5)9期生(現3年生)の進路内定状況について
 - (6)保健室来室状況とスクール・カウンセラー利用状況、後期避難訓練について
 - (7)生徒の状況について(欠席・遅刻・早退および特別指導)
 - (8)国際交流事業「りんくうSORAプロジェクト」の代表団派遣について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ・新教育課程編成にあたって、コースを選択する生徒が進学するであろう学校のニーズとカリキュラムの整合性を今後検討していくべき(学識)。
- ・海外派遣について、6名の派遣は少ない。(学識・地域)。
- ・卒業生の就職に関わって、求人はあるが、生徒が応募しない職種はどんな職種か?(地域)
→製造等の現業職は生徒がなかなか選択しない(進路指導部)。
- ・英検や保育検定などの検定受験費用を支援する取り組みは大変良い取組み。とりわけすべての検定の半額を補助するのはどんどんやってほしい。(学識・地域)
- ・防災教育について、後期の避難訓練では、事前通知なし、南海トラフ地震想定で実施、安否確認メールの講習も兼ねて実施した(生徒保健)。
- ・防災教育は、地域の小中学校との連携も重要である(地域中学校関係者)。
- ・共通テストに係る英語民間試験活用の見送りについては、本校では共通IDの申込者の資料を集約し、11月1日に投函予定だったが、活用の見送りが発表されて、発送を止めた(教頭)。
- ・1年生は遅刻が少ないのはなぜか?(学識)
→経験年数の少ない教員が多く、学年集会なども頻繁に行っている。生徒にこちらの伝えたいことが伝わっている。(生徒指導)。
→今年度より「総合的な探究の時間」が始まり、人間関係構築のワークショップ等も取り入れており、仲間づくりができていないのか?(教頭)
- ・施設設備についてはどうか?(学識・地域)→電子黒板は1年の6教室、2年で2教室、今後も増やしていく。また、ブロック塀については、現在フェンスにする工事を行っている最中。別途予算のつく工事はできるが、その他は財政上難しい。(事務)

次回の会議日程

日時	令和2年2月 日()00:00~ 日程は後日調整
会場	本校プレゼンテーションルーム